

報 時 震 驗

第 1 4 卷

第 1 號

中 央 氣 象 台

昭 和 25 年 1 月 10 日 發 行

驗 震 時 報

第 14 卷 1 號

目 次

武者金吉	中央日本特に越前，加賀兩圖に於ける古來の地震活動	1
本間正作	ウキヘルト式地震計の常數間の關係	12
同	上下動地震計の吊バネの質量の影響	15
西澤義則 本間正作	地震計の自由振動の減衰について	20
高木聖 山之上昭和	餘震の新統計法	23
本間正作	地震計の運動方程式	24
宇田川孝吉 野口憲男 久本壯一	地震計の摩擦及び殘留制振作用に関する一實驗	32
宇田川孝吉	地震記象の驗測の時間に關する誤差	35
酒井乙彦	地震計刻時用電磁石の改良	39
馬場重人	近地地震における同種反射波直達波の振幅比と震央距離との關係	44
本間正作 長宗留作男	境界層における波動の反射に就いて	47
正務章	地殼淺層内の地震波速度及び剛性に就て	56
廣野卓藏	半無限均一彈性体表面に週期的力が働いて生ずる彈性波の傳播(補遺)	71